

## 平成29年度資源評価調査報告書（資源動向調査）

都道府県名	福岡県 佐賀県	担当機関名	福岡県水産海洋技術センター 佐賀県玄海水産振興センター
種名	コウイカ	対象水域	唐津湾

### 1. 調査の概要

・福岡・佐賀両県では、唐津湾関係漁協の仕切り書データを収集、整理し、漁獲物を購入して精密測定及び聞き取り調査を行った。  
・漁期終了後、データを集計し、除去法により唐津湾における初期資源量（いかかご漁期前の資源量、以下同じ）の推定を行った。

### 2. 漁業の概要

コウイカの漁場である唐津湾は福岡県と佐賀県にまたがっており、両県では様々な漁業種類でコウイカが漁獲されている。

福岡県ではコウイカを主に漁獲する漁業種類は、いかかご漁業である（主漁期2～4月）。H29年は年間漁獲量の約97%をいかかごで漁獲し、他ではさし網漁業、小型定置網漁業、小型底びき網漁業、2そうごち網漁業等で漁獲（混獲）している（表1）。

佐賀県では、主に小型底びき網漁業、定置網漁業、さし網漁業、いかかご漁業（漁期2～4月）で年間漁獲の約98%のコウイカを漁獲している（表2）。

唐津湾全体（福岡・佐賀両県）では、H29年の年間漁獲量は26.2 t、そのなかご漁業による漁獲量は21.7 tで、年間漁獲量の約83%を占める。

### 3. 生物学的特性

基本的にイカ類の寿命は単年で、コウイカも同様である。成長は雌雄によって異なり、成体の雄は外套背長125-205mm、雌は109-191mmである。生殖腺指数（GSI）は雄では11月から5月頃まで高い値を示した。雌ではいかかご漁業操業開始時点である2月から高い値を示し、5月下旬も高い値を維持していることから、産卵は2-5月頃まで続いているものと考えられる。

### 4. 資源状態

福岡県唐津湾では、S52年以降の年間漁獲量は、H3年の383tとH4年の364tを除くと、概ね14tから234tの間で推移していたが、H29年は22tとなり、昨年よりやや増加した。前年比158%、平年比61%であった。資源水準については、漁獲量が突出したH3、4年を除いた過去最高値と最低値の差の3等分に基づき、14～87tを低水準、87～160tを中水準、160t以上を高水準とすると、H19年以降漁獲量は低水準・ほぼ横ばいであったが、H26年に大きく漁獲量が減少し、H28年に過去最低の漁獲量となったがH29年やや回復したため、低水準の横ばい傾向と判断した（図1）。

また、佐賀県唐津湾では、H29年の年間漁獲量は4tとなり、前年比83%、平年比61%と減少した。

福岡・佐賀両県の唐津湾においてH29年2-4月のいかかご漁業によるコウイカ漁獲量は約21tであった。これより唐津湾のコウイカ初期資源量は62 tと推定された（表3）。

#### （推定資源量の検証）

図2に残存資源量（取り残し量）と5月の小型底びき網漁業のコウイカに対するcpueの関係を示した。なお残存親魚量は初期資源量からいかかご漁によるコウイカ漁獲量を差し引いて求めた

図3に前年秋季（9-12月）小型底びき網漁業によるコウイカ漁獲量と初期資源量との関係を示した。両検証とも強い正の相関は見られなかった。

5. 資源回復に関するコメント

コウイカは、数少ない冬場の漁獲物として重要な魚種である。コウイカの漁獲量は増加、減少の変動を繰り返してきた。現在は低水準にあり、さらにH28年の漁獲量が大きく減少したため、原因を検証する必要がある。海洋環境や操業に関する情報を収集し、有効な資源回復の手法を検討することとしたい。

佐賀県との共同調査を行うことで、唐津湾におけるコウイカの資源量推定精度の向上を計り、資源管理の推進に係る情報を収集していきたい。

表1 H29年福岡県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位: kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	3,588	10,488	6,188	1,024	136	0	0	0	0	0	0	21,424
さし網	0	8	24	20	35	92	0	0	0	0	0	0	179
小型定置網	8	4	0	0	0	0	0	0	12	4	0	1	29
小型底びき網	0	0	0	0	104	24	4	12	120	112	108	32	516
1そうごち網	0	0	0	0	20	0	0	0	0	4	8	0	32
その他	0	0	0	3	12	0	0	0	0	0	0	0	15
総計	8	3,600	10,512	6,211	1,195	252	4	12	132	120	116	33	22,196

表2 H29年佐賀県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位: kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
小型底びき網	136	24	116	292	592	180	0	0	0	0	156	100	1,596
小型定置網	36	300	248	280	148	116	0	0	0	0	8	36	1,172
さし網	0	92	248	196	308	88	0	0	0	0	0	0	932
いかかご	0	60	124	56	0	0	0	0	0	0	0	0	240
その他	0	0	12	16	56	0	0	0	0	0	0	0	84
総計	172	476	748	840	1,104	384	0	0	0	0	164	136	4,024

表3 H29年唐津湾におけるいかかご漁業で漁獲されたコウイカ漁獲量、及びいかかご漁業漁期前推定初期資源量

① 平成29年2~4月のいかかごによるコウイカ漁獲量	20,504kg
② ①により推定したいかかご漁業漁期前の推定初期資源量	62t

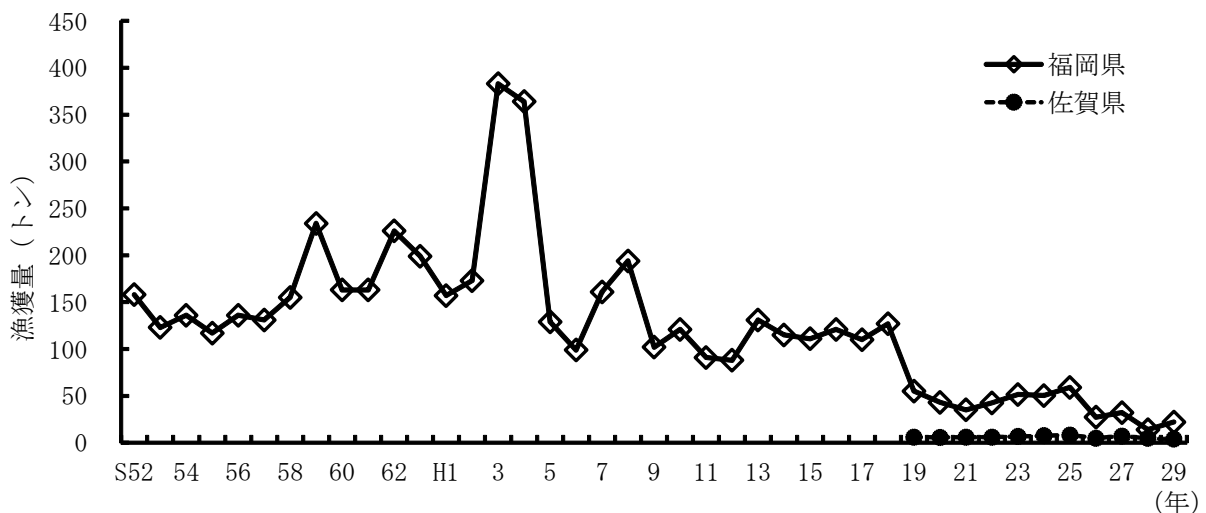


図1 唐津湾におけるコウイカ漁獲量の推移(全漁業種)

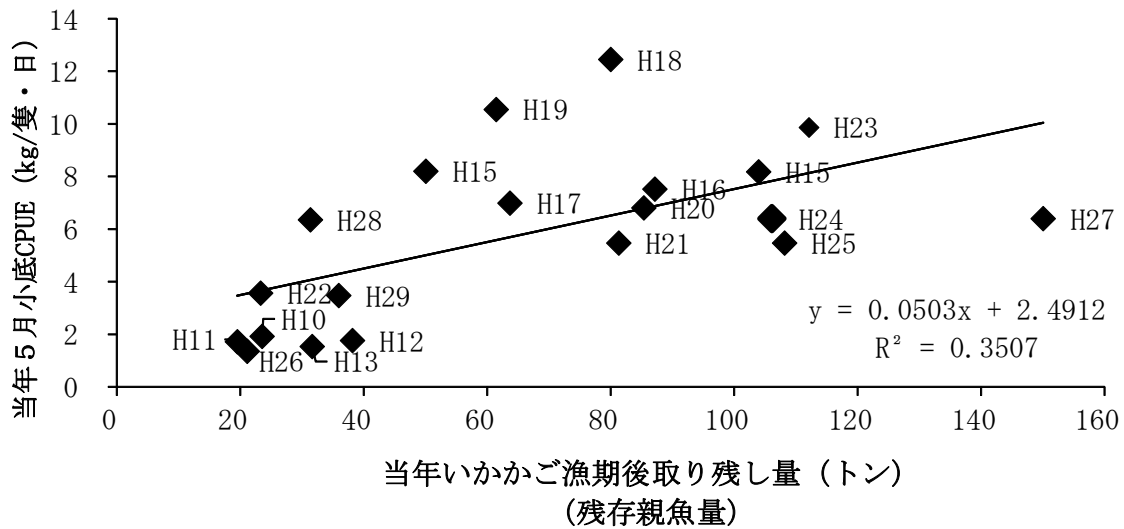


図2 福岡県唐津湾におけるいかかご漁業漁期終了後の取り残し量 (B-C=いかかご漁期前推定初期資源量-2~4月いかかご漁業漁獲量) と5月の小型底びき網漁業のコウイカに対するcpue(D)との関係  
アルファベットは参考表参照

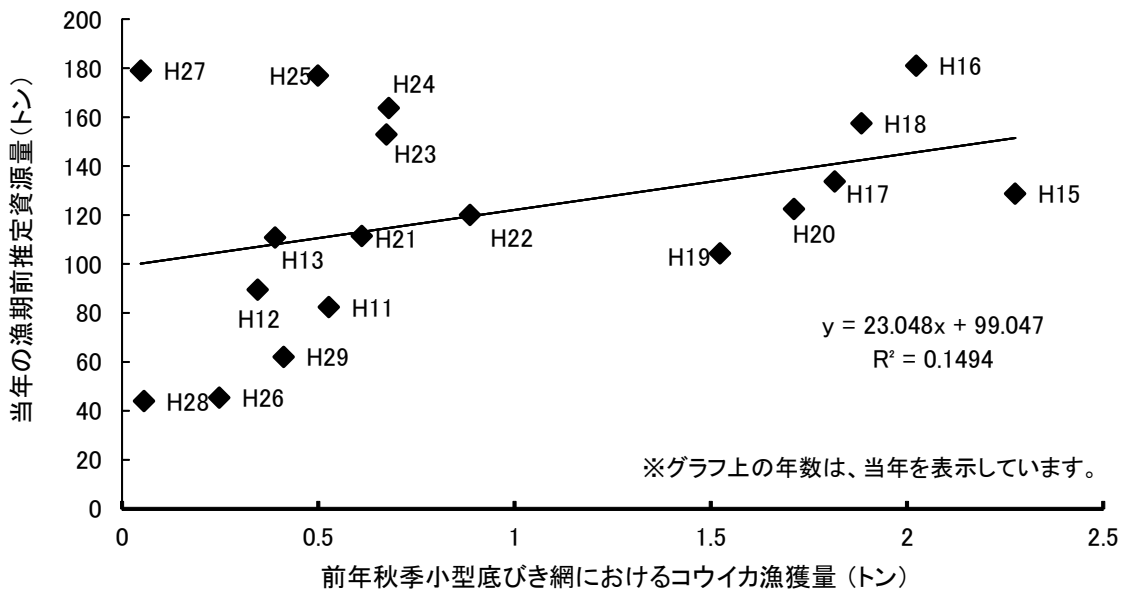


図3 福岡県唐津湾における前年秋季(9~12月)小型底びき網漁業のコウイカ漁獲量(A)といかかご漁業漁期前推定初期資源量(B)との関係  
アルファベットは参考表参照

(参考表)

平成28年					平成29年						
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
前年秋季小型底びき網漁業漁獲量					Cから推定する漁期前資源量	当年いかかご漁業漁獲量			小型底びき網漁業CPUE		
A					B	C			D		